



～夢・未来へ～  
町民と議会をつなぐ

第85号  
令和2年4月15日



QRコード

# 河津町議会だより

- 令和2年度一般会計予算 ..... 2～3
- 5つの重点施策・定例会議案 ..... 4～5
- 予算審査特別委員会 ..... 6～7
- 一般質問 ..... 8～12
- 第一・第二常任委員会視察報告 ..... 14～15
- 一部事務組合報告・私も一言 ..... 16～17
- 議会の動き・編集後記 ..... 18

# 令和2年度一般会計予算

## 前年度比3億2700万円

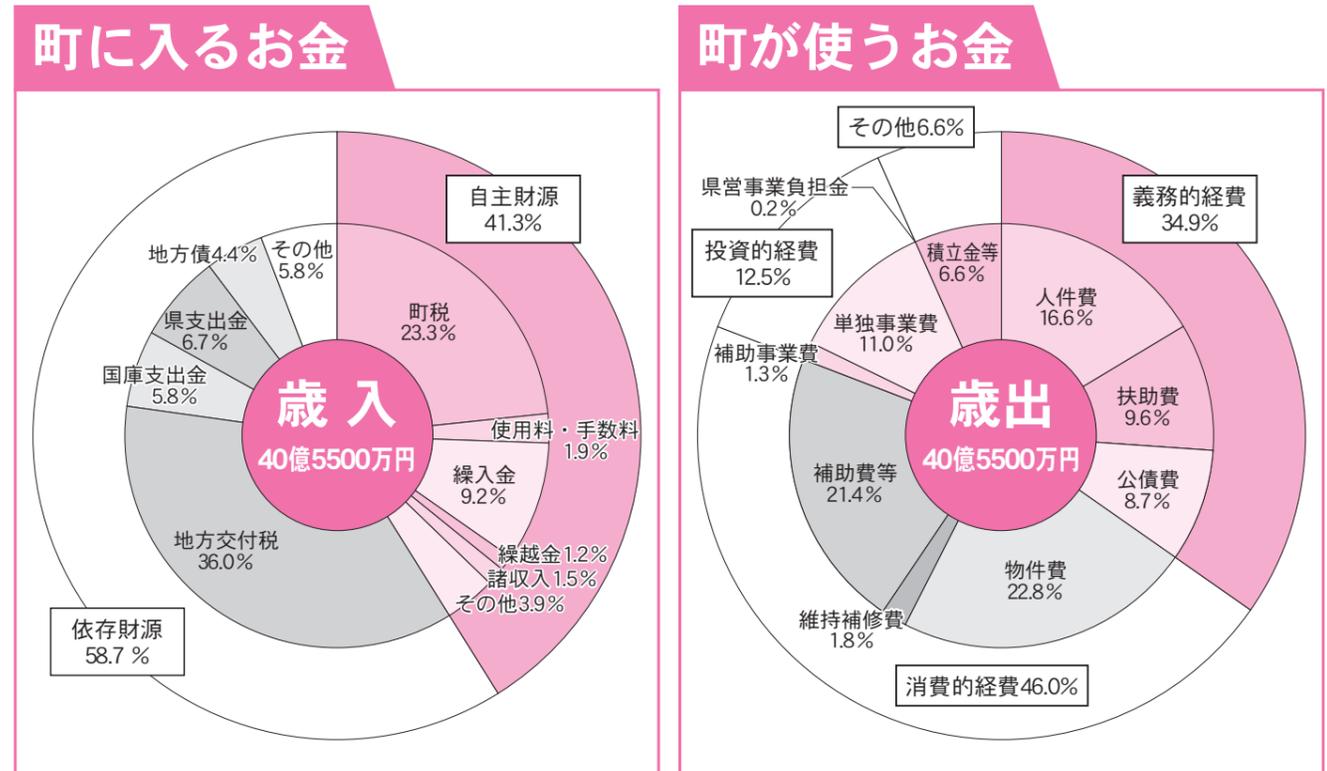
### 会計別予算

会計	令和2年度	前年度比
一般会計	40億5500万円	8.8%増
河津駅前広場整備事業	435万円	0.8%減
土地取得	87万円	同額
国民健康保険	11億5681万円	1.1%減
介護保険	9億8136万円	8%減
後期高齢者医療	1億1529万円	2.7%増
水道事業	2億7811万円	23.3%増
温泉事業	9401万円	2.2%増
合計(※)	64億3876万円	4.9%増

※一般会計と特別会計・企業会計間の重複を除くため、各会計の合計とは一致しない

# 増の積極的予算を可決

## 一般会計予算40億5500万円



## 新規事業 (抜粋)

### 一人ひとりが輝くまちづくり

- ・今後10カ年の河津町健康増進計画を策定 255万円
- ・若年がん患者に対する助成支援 57万円
- ・地域医療ネットワーク基盤整備事業 48万円
- ※二次救急医療機関（下田メディカルセンター、今井浜病院等）と専門医療機関（順天堂大学病院）が患者の画像データなどをリアルタイムで共有することにより、患者への初期対応力が向上し、死亡率の低下や後遺症の防止が図られる。

### 豊かな心身を育むまちづくり

- ・小中学校の校務支援システムセキュリティ対策 1283万円
- ・小学校の教科書改訂に伴う指導書購入 763万円
- ・町営バス車両買い替え 400万円

### 地域資源を活かしたまちづくり

河津バガテル公園の直営による管理運営と  
ワインカーブ解体工事 6218万円



解体されるワインカーブ561万円

### 水道会計

大堰浄水場非常用発電機更新事業  
7500万円



更新が予定されている発電機

# 令和2年第1回定例会

3月3日～3月13日

## 今回はこれがポイント！

### 会計年度任用職員制度に伴う行政事務包括業務委託事業の開始

令和2年第1回定例会では同意案件1件、承認案件1件、条例案件7件、規約改正2件、補正予算3件、新年度予算8件、全22件の審議を行った。

固定資産評価審査委員は遠藤照之氏（見高入谷）の再任、昨秋の台風被害関連予算の専決処分の承認、国の上位法の改正による河津町条例の改正、賀茂地区障害者地域生活支援拠点事業運営協議会設置に伴う規約の制定、ふるさと納税の前年度比40%増が報告された補正予算等、審議を行い全会一致で可決された。

令和2年度予算は全議員で構成される予算審査特別委員会へ付託され、各課に説明を受け、5日間の集中審査を行った。

行政事務包括業務委託事業、子育て支援施設整備事業、防災公園整備事業、町コミュニティセンターの耐震事業等、新規事業を織り込んだ予算編成がなされた。

審議の結果全会一致で可決された。

## 議案一覧

議案番号	議案名
同意第1号	固定資産評価審査委員会委員の選任について
承認第1号	専決処分の承認を求めることについて（令和元年度河津町一般会計補正予算（第6号））
議案第1号	地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について
議案第2号	河津町職員の分限に関する条例の一部を改正する条例について
議案第3号	固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例について
議案第4号	河津町消防団条例の一部を改正する条例について
議案第5号	河津町印鑑条例の一部を改正する条例について
議案第6号	河津町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について
議案第7号	河津町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について
議案第8号	賀茂地区障害者地域生活支援拠点事業運営協議会規約の制定について
議案第9号	静岡県市町総合事務組合理約の一部を変更する規約について
議案第10号	令和元年度河津町一般会計補正予算（第7号）
議案第11号	令和元年度河津町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）
議案第12号	令和元年度河津町介護保険特別会計補正予算（第3号）
議案第13号	令和2年度河津町一般会計予算
議案第14号	令和2年度河津駅前広場整備事業特別会計予算
議案第15号	令和2年度河津町土地取得特別会計予算
議案第16号	令和2年度河津町国民健康保険特別会計予算
議案第17号	令和2年度河津町介護保険特別会計予算
議案第18号	令和2年度河津町後期高齢者医療特別会計予算
議案第19号	令和2年度河津町水道事業会計予算
議案第20号	令和2年度河津町温泉事業会計予算

## 5つの重点施策

命を守り暮らしやすい未来を

### 防災減災対策



（護岸整備予定地）

- ・町コミュニティセンターの耐震化（1億1415万円）
- ・給食センターへの非常用電源の整備（1903万円）
- ・見高浜地区の津波レベル1想定  
護岸整備測量設計事業（1880万円）
- ・防災公園整備事業（土地取得）（1億5728万円）

### 子育てしやすい教育しやすい環境づくり



（子育て支援施設基本設計図）

- ・子育て支援施設の実施設計及び職員駐車場用地取得（8393万円）
- ・学習支援員、外国語支援員を配置して教育環境の拡充強化を図る（731万円）

### 産業振興



- ・ふるさと納税の返礼品充実化（4186万円）
- ・地籍調査事業を推進し地域経済成長促進の基盤づくり（2417万円）

### 公共施設の維持・延命化対策



（今後の利活用を見据えた取り組み：東小学校）

- ・道路橋梁施設の点検調査と補修（2461万円）
- ・学校施設の長寿命化対策（374万円）

### 事務の効率化と補助制度活用による財源確保

- ・デジタル航空写真とGIS機能を活用した課税地目の判別業務の委託（526万円）
  - ・行政事務包括業務委託事業（1億5500万円）
  - ・会計年度任用職員（4885万円）
- ※これまでの臨時職員は、会計年度任用職員と包括業務委託に分けられた。

# 令和2年度 予算審査特別委員会

3月5日～13日

委員長	上村 和正	副委員長	遠藤 嘉規
委員	大川 良樹	桑原 猛	渡邊 昌昭
	仲 里司	土屋 貴	渡邊 弘
			塩田 正治
			稲葉 静
			宮崎 啓次

令和2年度の各種予算を審査するため予算審査特別委員会を設置し、審議した。177問の活発な質疑が行われた後に3点の付帯意見が提出され、原案可決された。

質問の一部を抜粋する。

## 総務課関係

**質問** 行政事務包括業務について、委託料は共立メンテナンスに支払うのか、具体的な配置は。

**課長** 予算上で上限としている。業務の内容は、温泉会館、河津バガテル公園、給食センター、図書館、町営バス等80人くらいを予定。

**質問** 防災公園の状況は。

**課長** 伊豆縦貫自動車道の発生土を有効活用することで国と調整している。用地購入に関しては、地権者代表と交渉済。2年度は用地取得、3、4年度に造成、5年度以降に防災公園の整備に着手予定。

## 健康福祉課関係

**質問** 子育て支援施設実設計業務委託料は計上してあるが、職員駐車場代替地の購入予算は計上してあるのか？

## 企画調整課関係

**質問** ふるさと納税の増加対策は。

**課長** 地域おこし協力隊員を一名増員して商工会の協力により、返礼品の開拓をしていく。

**質問** 町コミュニティセンターの耐震化工事の着工予定はいつ頃になるのか、利用されている方も多く不便となるが。

**課長** 最短でも8月下旬か9月になると思う。工期は6カ月位を考えている。町としても、代替施設について対応できる部分についてはお願いを各団体にしている。

**建設課関係**

**質問** 伊豆縦貫自動車道工事の発生土はどんどん継続して出てくるが、これから計画を立てて使っていく予定はあるのか。

**係長** 受入れ候補地については、国と情報共有しているが、適地があれば情報の提供をお願いしたい。

**町民生活課関係**

**質問** 航空写真による地目判定が取り込まれるがそれにより農地が雑種地になるのか。

**課長** 事例にもよるが、田畑だと農地法の手続きもあり、それらとの調整が必要になる。

**質問** 合併浄化槽の普及が進んでいないのは。

**課長** 広報紙に掲載しているが、アンケートを実施したところ知らない人もいる。制度も含めて周知を図る。

**産業振興課関係**

**質問** 七滝地区がミシユラングリーンブックの星2つと評価された。七滝の地形を含め、ジオ関係が評価されたが七滝観光センターを解体した後、どのような取り組みをするのか。

**課長** 計画を立て、県に承認してもらい整備を図っていききたい。ミシユランの2つ星がついてPRのしがいがある。地元地区等と検討していきたい。

**質問** 見高浜地区のレベル1津波対策等の工事が地質調査測量設計と地区説明会のスケジュールを教えてもらいたい。

**課長** 令和2年度はペロバ海岸前の延長200メートルについて地質から、測量設計を行う。令和3年度は調査結果をもとに工事着手する。また、見高川の水門の整備も実施していく。



予算審査特別委員会（審議の様子）

## 意見書

- 1) 新型コロナウイルスの感染症の拡大により、町内及び日本国内の観光・経済に大きな影響を及ぼしている。国・県及び関係各種団体と連携を取り、速やかな対策を講じて住民の安心・安全な生活を確保されたい。
- 2) 行政包括業務委託が新たに始まるが、観光客や住民など行政サービス等の享受者に影響が出ないように、委託業務の管理・監督を徹底されたい。
- 3) 伊豆縦貫自動車道河津下田道路の工事も順調に進んでいるが、天城峠道路の工事に着手すると、膨大な発生土が予想される。今後のまちづくりに活かすべく、利活用を早期に検討されたい。

## 水道温泉課関係

**質問** 入谷の試験掘りがうまくいかなかったという事で、これからの具体的な考えは。

**課長** コンサルと水量計算等をしてみないとはつきりわからないが、入谷の配水池を大きくする等入谷の水を広く使えるような形を考えている。

**質問** 大堰の浄水場の自家発電装置をどこに置く

**課長** 土地購入費として計上済。



防災公園予定地「峰 花園」

## 教育委員会関係

**質問** 学校教育ITC支援委託料について今までの実績とこれからの計画は。

**事務局長** 学校ごとに巡回、相談、指導している。ギガスクール構想（一人一台のパソコンを令和5年度までに設置、ネット環境整備を2年度中に）に対し、普通教室のネット環境整備を進めていく。

**質問** 教科書改訂で指導書を購入するが計画的に増やすのか。

**事務局長** 教科書改訂は3年ごとで学校として必要なものだけを精査している。

のか。低いところだから下に置くと水害時に水が来る等のリスクがあるが。**課長** 取水を考えると川と水源は密接な関係があり既存の設備・施設の構造的にもかさ増しは難しい。

# 町政を問う

# 一般質問



わた なべ ひろし 議員  
渡 邊 弘



河津バガテル公園（フランス広場）

質問：収支予算、営業、運営もできる支配人制度の導入はできないか。  
 町長：担当職員を一名増員した。支配人制度は考えていない。  
 質問：観光事業だけでなく、福祉政策は取り入れられないか。  
 町長：再生計画の中で検討を進めたい。

質問：町の財産として再生をするなら、本気になって取り組むのか。  
 町長：本気で取り組むたい。  
 「町コミュニティセンター耐震補強事業について」  
 質問：どこまでの災害に対応するのか。  
 町長：耐震化を進めているが、県の補助制度の中

も考え、耐震性も検討している。  
 企画調整課長：耐震性も確保できるか両方合わせて検討している。  
 質問：耐震性は設計時から調査も違う。両てんびんは無理。  
 町長：設計者からの意見では難しいとの意見もあった。

## 質問 河津バガテル公園再生の達成点・事業計画は

答え 事業計画は無い。達成は費用負担の解消

質問：統合による河津町らしい学校教育の在り方、教育方針は。メリット、デメリットは。  
 教育長：地域連携型の教育環境をつくる。子供たちの未来の教育を第一に。メリット、デメリットは明確な答申がない。  
 質問：地域住民の方に教育の方針、財政面も含め

情報の開示をし、意見を聞いていくのか。  
 町長：順次段階的に情報公開をし、地域の理解を求めていく。  
 質問：幼稚園はどう考えているのか。  
 町長：災害関連もあるので場所も検討する。仮説だが保育園と一緒に考えた認定こども園が将来的

に理想の姿。  
 質問：小中一貫校のカリキュラムは。  
 教育長：カリキュラムの編成は重要な要素。内容の検討は先だが、作成を進める。  
 意見：国の指針で一人に一台のパソコン配布がある。デジタル化も含めた教育方針が必要である。

## 質問 学校統合による河津町らしい学校教育の在り方は

答え 地域連携型の教育環境・未来に向けた教育

# 町政を問う

# 一般質問



河津桜切枝カップ



わた なべ まさ あき 議員  
渡 邊 昌 昭

質問：河津桜の市場出荷の状況はどうだったのか。  
 町長：河津桜のブランドを活かし、農業振興等を狙い試験的に3回行った。企画調整課長：年末、1月、2月にそれぞれ出荷した。今年が開花が早く、出荷のタイミングに苦慮した。市場からは花数が少ないとの反応で低価格であった。助成制度を設

けているので講習会等を開催していく。  
 質問：切枝カップの反応は。  
 町長：今年度社会実験として河津桜まつり会場で観光協会に委託して販売した。  
 企画調整課長：194個の販売実績で終わった。アンケートによる反応は「家でも楽しめ満足」

「高齢の両親にとっても喜んでもらえた」「植える場所がないが自宅で楽しめた」など好評だった。今後はルールをつくってやっていく。  
 他「令和2年度予算編成について」「小学校の統合について」2件

## 質問 ふるさと納税の状況は

答え 当初の予算確保ができた

質問：ふるさと納税の今年度の状況は。  
 町長：年末に大きな進捗状況を見せ、当初の予算を確保できた。  
 企画調整課長：2月末現在で1980人余りの方に9500万円という寄附をいただき昨年同期で44.3%の増となり、当初予算額については達成している。

質問：幅広い返礼品とその品数を増やし、ターゲットを広げるため専門的な職員を配置する考えはないのか。  
 町長：返礼品の開発等により重点を置いて拡大を目指したい。来年度は商工会に地域おこし協力隊を、一人募集してさらに拡大を目指す。  
 企画調整課長：商工会の

協力をいただき商工会内にふるさと納税返礼品に関するプロジェクトチームを設置していただき隊員を加え、返礼品の新規開拓、既存返礼品のマッチングによる新しい返礼品をお願いして、寄附額の増進を図り、強化していく。

## 質問 今年の河津桜切枝の販売状況は

答え 社会実験として切枝カップを販売し好評だった

質問：河津桜切枝の販売状況は。

企画調整課長：商工会の

協力をいただき商工会内にふるさと納税返礼品に関するプロジェクトチームを設置していただき隊員を加え、返礼品の新規開拓、既存返礼品のマッチングによる新しい返礼品をお願いして、寄附額の増進を図り、強化していく。

# 町政を問う

# 一般質問



おおかわよしき 大川良樹 議員



第30回河津桜まつりのちらし「企業スポンサーの活用」

質問：企業版ふるさと納税の推進、展開、事業登録は。  
町長：今年度策定予定の「河津桜まつりづくり計画」などを対象事業にすることも考えられるので、ぜひ取り組んでいきたい。  
質問：町と企業がマッチングするうえでも、また、外から目線のまちづ

くり協力なども含め、今後シティプロモーション担当は必要ではないか。  
町長：現実的には静岡県東京案内所を活用していることが、町にとってはとりあえずの対策、ただ将来的には、民間活力を利用していくことは大事なこと、今後民間の活用については、いろいろ考

## 答え 将来的には、民間活力も大事

## 質問 今後、シティプロモーション担当が必要では

質問：2年度予算、歳出全般の見直し、具体的にどの施設、どのような内容を見直すのか。  
町長：各種団体の補助金についても、人数や実績を見て、厳しく査定をした。各施設の見直しについては、選択が必要、利用率なども考慮し、廃止や継続の判断をする。  
質問：歳入で、ふるさと

納税、1億円を超える予算を組んでいるが、拡充と具体的な方策は。  
町長：返礼品、商品開発に力を入れるため、商工会に地域おこし協力隊を派遣。将来的には民間委託制度、アウトソーシングも検討したい。  
質問：国の雇用制度変更により、臨時・非常勤職員制度が変更されるが、

どのように変わるのか。  
総務課長：会計年度任用職員37名、それ以外は包括業務委託、約80名を予定している。  
質問：制度変更による給食センター運営変更は、総務課長：調理職員については、包括業務委託になるが、運営は現行どおり町の運営。

## 答え 大きな事業もあるので、大変厳しい査定・審査をした

## 質問 2年度、当初予算編成について

# 町政を問う

# 一般質問



パラリンピック会場の新国立競技場



えんどうよしのり 遠藤嘉規 議員

質問：オリンピック・パラリンピック開催にあたり、伊豆市では自転車競技、下田市では聖火リレーが開催される。  
町内の児童生徒に競技観戦や国際交流、オリ・パラに対して学習の機会をもうけては。  
教育委員会事務局長：町内3小学校5、6年生を対象に、新国立競技場で

行われるパラリンピックの陸上競技の観戦を予定している。県の取りまとめが終わり、東京2020組織委員会からの回答を待っている。  
町長：子供たちがパラリンピックを東京国立競技場で観戦する。競技内容やオリンピック・パラリンピックについて、事前に理解を深めることは大

変大事。また、オリンピックがきっかけとなって、サイクルスポーツの聖地として、伊豆が注目され始めてきている。サイクルスポーツの理解促進や、パラリンピックを通じた共生社会の理解促進など、体験等を通して進めていきたい。

## 質問 子供たちのオリンピック・パラリンピック観戦は

## 答え パラリンピックを新国立競技場で観戦する

## 質問 子育て支援拠点の災害時の機能は

## 答え 親子で避難できる機能を持たせる

質問：防災ガイドブックを見ると、子育て支援拠点の建設予定地が、洪水浸水エリアに入る地図と入らない地図がある。2種類の洪水想定図の違いは。  
総務課長：50年に1回程度の確率で発生する規模を想定した「計画規模」の地図と、実績最大雨量を基に想定し得る最大規

模降雨による洪水を想定した「想定最大規模」の地図がある。  
質問：洪水発生時の安全確保の取組みは。  
健康福祉課長：「想定最大規模」で最大浸水深は50cmから1m。建設に当たって、現地盤高より1mかさ上げして、建設をする。災害時には避難施設として活用できるよう

非常用電源装置を含め、洪水発生時にも施設の機能維持ができるよう、機器の配置を考慮した建設計画を策定する。また、想定外の事態でも屋上へ避難できるよう対策している。  
他「マイナンバーカードの普及促進とマイナポイント事業について」1件

※新型コロナ対策のため、パラリンピック観戦は中止となりました。

# 議会だより第85号 読者アンケート

抽選で5名様に  
「河津踊り子温泉会館入浴券」  
プレゼント!!

お名前 \_\_\_\_\_

ご住所 \_\_\_\_\_

ご連絡先 \_\_\_\_\_

読者の皆様のご意見を紙面に反映したく、下記のアンケートにぜひご協力ください。  
お名前、ご住所、ご連絡先、各質問の回答をご記入の上、FAXあるいは郵送（封筒）にて河津町議会事務局宛にお送りください。

締め切り  
4月末日必着

- FAX送付先：下記参照
- 郵送先：〒413-0595 静岡県賀茂郡河津町田中212-2  
河津町役場 議会事務局  
※郵送の際の切手代等は各自ご負担願います。

アンケート回答者の中から抽選で、5名様に「河津踊り子温泉会館入浴券」を差し上げます。  
なお、当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

Q1 「興味を引いた」あるいは「役に立った」記事は？

Q2 「議会だより」の記事で目を通したものは？（□にレ点をつけてください。複数回答可）

- 2～3 P 令和2年度一般会計予算  4～5 P 5つの重点施策・定例会議案
- 6～7 P 予算審査特別委員会  8～12 P 一般質問  14～15 P 第一・第二常任委員会視察報告  16～17 P 一部事務組合報告・私も一言  18 P 議会の動き・編集後記

Q3 議会だよりに対する満足度は、どのくらいですか？（□にレ点をつけてください。）

1. 大変満足  2. まあまあ満足  3. もう少し  4. 不満

Q4 議会だよりの記事への感想、取り上げてほしいテーマなどがあればご記入ください。

お寄せいただきました情報は、議会だよりで紹介させていただく場合があります。また取材、原稿依頼等をさせていただく場合は、広報編集委員会より改めてご連絡申し上げます。ここでいただきました個人情報は、上記の目的以外に使用することはありません。 議会事務局 0558-34-1957

## FAX番号 0558-34-1405

## 町政を問う

## 一般質問



伊豆縦貫道 小鍋・逆川間トンネル工事現場



おだまさ はる  
塩田正治 議員

質問 (仮称)河津IC周辺地域の今後について

答え 地域の皆さんの意見を聞き地区計画をたてる

質問：IC周辺地域のグランドデザインを描くのか。  
町長：地区の方々の意見も聞いている。また日本の大学の学生に協力をうけ、町歩きなどを通じ活性化の提言をいただいた。ある程度地域の皆さんの意見がまとまった段階で

区計画を考えたい。  
質問：今のままでは通過点になる、二期工事完成まで時間が無い。地域住民の意識は高まっていると思うが。  
町長：地区の中である程度盛り上がって、一緒にやって行くのがやりやすい。これまでのように、

町がやれば付いて行くというのではなく、地域の皆さんにも情報提供をし、取捨選択をして、地域とともに必要なことに取り組んでいくことが大事。特に七滝・湯ヶ野地区は重要と考えている。少し方向を変えて盛り上げていく。

質問 財政について 税収増加策に取り組んでほしい

答え 基幹産業の観光で流入交流人口を増やす

質問：当町のプライマリーバランスは現状どうか。  
総務課長：公表を義務付けられている財政健全化判断比率の4つの指標は、30年度決算においてどれも健全である。借入金の残高でも10年前よりも約9億円減り、着実な償還

をしている。現状は健全運営がされている。  
質問：地方財政審議会では、徹底した事務事業の見直しや行財政運営の効率化等を推進し、歳出の抑制を図ると同時に税収増加に努めるようにとあるが、当町でも取り組んで欲しい。

町長：働く世代に住んでもらうような産業振興、人口増加対策、基幹産業である観光業のてこ入れによる流入人口、交流人口の増加、そして取り組み次第では増やせる可能性があるふるさと納税には、今後特に力を入れていきたい。

## 第1常任委員会研修視察報告

### 公共交通の補完・ちよいサポ・防災へり

研修日時

令和元年12月

18日(水)

愛知県豊田市・とよたエ  
コフルタウン

19日(木)

静岡県  
川根本町・NPOかわね  
来風の活動と「ちよいサ  
ポ」

静岡市・静岡ヘリポート

参加者

第一常任委員会

委員長

副委員長

遠藤 嘉規

桑原 猛

上村 和正

仲 里司

土屋 貴

宮崎 啓次

大川 知寛

議会事務局

視察内容

#### 1. 愛知県豊田市

とよたエコフルタウン

① 持続可能なまちづくり

の取組み(SDGs)

② 超小型モビリティを

使った公共交通の補完

公共交通空白地帯の取

組みとして、中山間地域

における高齢者の日常移

動のために、地域住民と

ともに超小型モビリティ

の改造や活用を行う「里

モビサークル」という取

組みを行っている。超小

型モビリティ「コムス」

は運転免許が必要な事、

価格も80万円程するが、

軽トラククの代替え手段

として有効である。また、

免許証を返納した方には

「セニアカー」の様な選

択肢も有効だと考える。



小型電気自動車「コムス」

#### 2. 川根本町

町内で活用するには高齢

者向けリース制度など支

援検討が必要である。自

分で移動したい高齢者の

運転寿命を延伸し、外出

促進につながると思した。

① 「ちよいサポ」の取組

みとNPOかわね来風

の活動

「ちよいサポ」とは、

町内のサービスマンサポー

ターによる、「お互いさま」

の気持ちを尊重したサー

ビスで、困りごとを抱え

た方々が、遠慮なく利用

できるようチケット(利

用券)制の安価な有料サー

ビス。サポーターは主に

カーの配布や水路清掃な

どに取り組み、町並み保

存会を住民自ら組織した。

行政も水を活かしたま

ちづくり構想を策定し、

「水と踊り」ところのふ

るさと」をコンセプトに

【道路改修】【側溝整備】

【路面舗装のグレード

アップ】等、住民の意向

を反映した整備計画をし、

行政と住民が地域の課題

を共有し、住民自らが考

え、議論、地域の特色を

活かした町づくりを進め

ている。

当町においても地域資

源を明確化し、町民が主

導で問題や課題を行政と

共有して地域一体の町づ

くりを進めていきたい。

60〜70代。活動は「ゴミ  
出し」や「家の片付け」  
の他に、「庭の草取り」  
や「畑のお手伝い」「種  
まき」から「畝づくり」  
「収穫」まで幅広い。  
川根本町が取り組む高  
齢者生活支援の在り方は、  
今後更に高齢化が進む河  
津町でも大いに参考にな  
ると考える。また、既存  
の組織であるシルバー人  
材センターとの住み分け  
もなされている。

#### 3. 静岡市

静岡ヘリポート

静岡県消防防災航空隊

① ヘリポートの見学

② 静岡県消防防災航空隊

の活動について

③ 消防防災ヘリの運用

副隊長2名によるヘリ

ポート、装備品、活動の

説明を受けた。下田消防

管内では、山岳救助、水

難救助、医療機関への傷

病者搬送、山林火災等に

おける消火活動などを行っ

ている。令和元年9月か



静岡ヘリポート 引用元:静岡市ホームページ

## 第2常任委員会研修視察報告

### 岐阜県 郡上市・高山市 古い歴史の町並みは住民自身 の手で作られ守られている!

研修日時

令和2年1月

28日(火)

岐阜県郡上市

29日(水)

岐阜県高山市

参加者

第2常任委員会

委員長

副委員長

塩田 正治

渡邊 昌昭

大川 良樹

渡邊 弘

稲葉 静

木村 吉弘

後藤 幹樹

企画調整課長

事務局長

#### 1. 郡上市

【歴史的資源・水資源  
を活かしたまちづくり】  
について視察を行った。

郡上市八幡町は郡上八

幡城、郡上八幡博物館、

そして名水百選の第1号

に認定された宗祇水など、

観光資源に富み、大正時

代より水資源を活用した

水路整備と古い町並みを

融合させて、大正、昭和

初期の時代を感じさせて

くれる町である。

歴史的資源をまちづく

りに活用するため、外部

有識者や地元住民が水環

境造形計画研究会を立ち

上げ調査し、事業展開の

可能性を明

確化した。

地域住民

は、水資源

が自分たち

の財産であ

ることを認

識、ステツ



住民の意見を取入れた側溝

#### 2. 高山市

【町並み保存の取り組み

と伝統文化】について視

察を行った。

高山市は、日本一広大

な面積を誇り、約430

年前に築城された高山城

や城下町がある。高山駅

が作られた時に開発が遅

れ、結果として古い町並

みが残ったことにより、

春と秋の高山祭といった

その伝統と古い町並みを

地域住民と行政が一体と

なり景観保存に努めてい

る町である。

昭和30年代後半、メデイ

アに取り上げられ観光客

が詰掛け、町並み保存の

機運が高まり、市民活動

が活発化した。

高山祭の屋台組が町並

み保存会や景観保存会を

結成し、行政と連携する

ことで良好な景観を阻害

する鉄塔や巨大看板の撤

去、またコンビニ、銀行、

交番など建築物のデザイン

が景観に配慮されるな

ど、古い町並みとの調和  
が形成された。行政も条  
例で撤去費用や改修費用  
に対し、9/10や10/10  
の補助制度を整備するな  
ど官民連携して町並みを  
保存するために協働して  
いる。

当町でもエリアを絞り、  
まずは1カ所でも官民連  
携で成功事例を作り出す  
ことが大事ではないかと  
感じた。



町並みに合わせたコンビニ

一部事務組合

伊豆斎場組合議会

2月17日伊豆斎場長寿命化計画策定等業務委託の中間報告、会計年度任用職員の早期募集について等、協議が行われた。同日、定例会が開かれ令和元年度伊豆斎場組合計の補正予算及び令和2年度予算が審議され可決承認された。

令和2年度予算は歳入歳出それぞれ2億6千万円となった。歳出の主なものは長寿命化改修費2億1630万円である。40年経過した伊豆斎場は建物及び火葬炉設備の経年劣化が進行している。長期的な使用を図ることを目的にした大規模改修であるが、炉前ホールや待合室を利用者が他の火葬参列者に気を遣うことなく、故人をしのぶことが出来る工夫をする。火葬炉は現在3基を2基とする。設備は1炉増設

可能な3炉分の能力を備えたものにし、停電時の対応として非常用発電設備を設置する。総事業費は4億円の範囲内として、2カ年継続事業で改修を進める。



腐食が進む車寄せ屋根

下田地区消防組合議会

2月17日定例会が開かれた。令和元年度補正予算、令和2年度予算等6議案が審議され可決された。議会開催に合わせて議員研修会が開催され、新年度予算、消防広域化駿東伊豆消防との比較等の説明等がされた。

議案第1号 (注) 議案第2号 下田地区消防組合職員の給与に関する

条例の一部を改正する条例の制定について

議案第3号 下田地区消防組合会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定について

議案第4号 地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について

議案第5号 令和元年度下田地区消防組合会計補正予算(第2号)は、歳入歳出予算の総額から、歳入歳出それぞれ2765万円減額し、総額を12億6397万6千円とした。

議案第6号 令和2年度下田地区消防組合会計予算は歳入歳出それぞれ、11億9521万2千円。事業報告 令和元年8月1日～令和2年1月31日まで組合全体で、火災発生は11件。救助出動件数は34件。救急出動は1985件、搬送人数は1850人、河津町では251人が搬送された。ドクターヘリの搬送要請168件、117人の傷病者が搬送された。また、デジタル無線の不感地帯の補完、大規模災害時の情報伝達を目的にIP無線機27台を導入した。

下田メディカルセンター 2月18日に定例会が開かれた。事業報告・運営状況 4月から12月までの入院患者数、25167人。外来患者数、53820人。救急患者数 2844人。スタッフは常勤医師14人、非常勤医師29人、看護師110人で運営。

議案第1号 一部事務組合SMC(下田メディカルセンター)職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議案第2号 SMC会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定について

法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について

議案第5号 (注) 議案第6号 令和元年度SMC病院事業会計補正予算

議案第7号 令和元年度SMC介護老人保健施設事業特別会計補正予算

議案第8号 令和2年度SMC病院事業会計予算

東河環境センター議会

東河環境センター議会が2月26日エコセンターにおいて開催された。

議案第1号 (注) 議案第2号 令和元年度東河環境センター会計補

正予算(第3号)について 歳入歳出それぞれ29万4千円を減額補正した。主な理由は塵芥処理手数料が見込み額よりも少なくなつたため。 議案第3号 令和2年度東河環境センター会計予算について 歳入歳出それぞれ4億4820万2千円とした。前年比マイナス14億260万5千円となったが、3カ年計画の基幹改良工事が終了したための減額である。

第29回河津町・東伊豆町議会議員研修会

1月30日に河津町・東伊豆町議会議員研修会が、東伊豆町役場で開催された。

講師は、『静岡県東京案内所 ふじのくに大使館』公使(所長)滝浪勇氏を迎え「令和元年度ふじのくに大使館の取り組み」について、静岡県の首都圏の窓口として、また「ふじのくに大使館」

としての4つの目的遂行、それに取り組む活動についての講義を受けた。 『ふじのくに大使館4つの目的』とは ・ 県政をはじめ『ふじのくに』の様々な情報発信、提供をしながら、首都圏における経済界や有識者など各界の人的ネットワークを構築・充実し、『ふじのくに静岡』の応援団の形成をめざす。 ・ 県政遂行に必要な情報を収集し、各部署、関係団体等に提供するとともに『ふじのくに』づくりの施策展開や進捗状況等を関係各方面に情報提供し、緊密かつ効果的な組織連携に資する。 ・ 首都圏における本県の地域外交推進拠点として、在京大使館との連携を強化する。 ・ 首都圏を中心に企業の設備投資情報を収集するとともに、県内の工業団地等の用地情報を提供し、優良企業の誘致を図る。

私モ一言 YouTuber 『つつけん』

以上に対し、県内市町からの派遣職員8名を含む、23名体制で、活動している。

バイクの町、河津を目指して!



初めまして! 『つつけん』と申します。 私は、河津町に在住し、ミニバイクに乗りながら河津を中心に、伊豆の道、景色、お店などを動画で撮影をして、それを編集し、YouTubeに投



ゴミ拾いミーティング

稿するいわゆる「ユーザーバー」をしている者です。 今年の第30回河津桜まつりでは、河津桜の開花状況を動画撮影し、速報として、1月24日～2月27日まで、合計34本の動画を投稿しました。 始めたきっかけは、テレビ中継や各種報道が、本当に見てほしいタイミングと、ずれている時があると感じていたからです。 毎年、見続けている地元民が、発信する情報こそ「本物」としての価値があるのではないかと思

い、最高状態の河津桜を、見てほしい気持ちから始めました。 私の動画を、参考に來てくださったという、お声を多く頂戴するようになりました。 あるとき、川原のゴミが非常に目立っていることに気が付き、地元の間とゴミ拾いをし、動画

やSNSで呼びかけ、県外からもかけつけていただき、ゴミ拾いのイベントも行いました。 河津町に愛着をもってくださる方が、多くいることに非常に嬉しかったです。 バイク好きな方の視聴者が大半です。 バイク用駐車場の確保や、バイクに特化した地域PRや、町おこしを企画して、バイクの町、河津町!河津を目指して、バイクが集まる、そんな日を目指して、これからも活動を頑張ります。

(注) 静岡県市町総合事務組合同規約の一部を変更する規約について



議長 土屋 貴 たくしや たかし

### 議会の動き

#### ●議長の活動

1月

- ・賀茂郡町議会議長会臨時総会及び議長会議

(当町)

- ・静岡県地方議会議長連絡協議会第2回政策研修会 (静岡市)

- ・伊豆縦貫自動車道建設促進期成同盟会要望活動

(国土交通省中部地方整備局)

2月

- ・伊豆縦貫自動車道建設促進期成同盟会要望活動 (国土交通省本省)
- ・静岡県町村議会議長会総会及び研修会

(静岡市)

- ・伊豆縦貫自動車道河津

下田道路河津トンネル  
逆川地区工事トンネル  
到達祝いの会



逆川地区工事トンネル到達祝いの会

#### ●町議会の活動および常任委員会活動

12月

- ・「年末の交通安全全県民運動」街頭広報

- ・例月出納検査報告

1月

- ・河津町消防団出初式
- ・河津町成人式

- ・議会広報編集委員会

- ・新春賀詞交歓会

- ・議会議員説明会

- ・例月出納検査報告

- ・賀茂キャンパス(賀茂)

- ・地域大学交流拠点施設

- ・開所式

- ・東伊豆町議会と交流会

2月

- ・下田警察署管内暴力追放、銃器・薬物根絶住民大会 (松崎町)



員会

#### ●第一常任委員会

- ・愛知県豊田市、川根本町、静岡市へ行政視察
- ・全国国民健康保険運営協議会会長等連絡協議会 (東京)

- ・河津町国民健康保険運営協議会

#### ●第2常任委員会

- ・岐阜県郡上市、高山市へ行政視察

- ・河津町青少年問題協議会
- ・河津町駅前広場管理運営委員会

#### ●皆さんお気づきですか？

津波避難誘導路面標示が、浜・笹原地区 24カ所に設置された。



### 編集後記

令和2年度予算が原案どおり可決され、新たな期を迎えました。町コミュニティセンター耐震化事業、子育て支援施設建設事業、防災公園整備事業、小学校統廃合などの計画を進めています。行政と議会で連携を取り一つ一つ柔軟に対応し且つ、しっかりとチェックしてまいります。町民の生活に関わる議案を審議する議会の様子を、これからもわかりやすく「議会だより」でお伝えできればと思います。(上村)

#### ●議会広報編集委員会

- 委員長 上村和正
- 副委員長 大川良樹
- 委員 桑原 猛
- 渡邊昌昭
- 遠藤嘉規

定例会の日程は、河津町ホームページでも確認できます。

議会だよりは、年4回(2月、4月、7月、10月)発行。

議 会 傍 聴 飲 迎 し て お り ま す 。